

# ITC Conference 2005 ITコーディネータ活動 発表事例募集要項

2005年5月24日 ITC Conference 2005 実行委員会

## 1. ITC Conference 2005 の位置づけ

ITC Conference 2005 はITコーディネータが一堂に会し、経営者とともに今何をすべきかを考える全国的会議です。また、ITC Conference 2005 はITコーディネータ認定制度の継続研修の一環に位置づけると同時にITコーディネータの全国的ネットワーク醸成の場とも位置づけています。当大会開催によりITコーディネータ認定制度やITコーディネータの活動が広く産業界に紹介され、ITコーディネータの知名度浸透の1つの契機になることと思います。

## 2. ITコーディネータ活動 発表事例の募集の目的

ITC Conference 2005 ではプログラムの1つとして「ITコーディネータ活動事例発表」を設けます。これは、ITコーディネータとしての活動事例を共有し、お互いに実活動でのマーケティング方法やコンサルティング上のポイントの理解を深めること狙うものです。特に今年度は、経営とITの融合による経営革新事例、IT経営応援隊事例、最新技術によるソリューション事例、および展示等の特別企画を募集します。事例を学習することで、企業における戦略的IT導入のあり方やコンサルティング活動の理解を深めて、顧客満足の高いよりよいコンサルティングにつながることを思いますので、ITコーディネータとしての活動事例をお持ちの方は奮ってご応募をお願いいたします。

## 3. 募集事例の内容

今回募集する事例は、従来同様のITCプロセスを応用した経営革新の他に、下記4つのコーステーマに沿った内容の事例を募集します。

### Aコース：経営とITの融合による経営革新事例

経営戦略策定や、戦略情報化企画の段階からITCが参画したことによって経営革新に成功した事例で、経営者とITCが共同で発表することを基本とします。

### Bコース：IT経営応援隊に関連した事例

関係機関やITベンダーなどとの連携を図り一致団結して啓発を図ることで中堅・中小企業のIT活用の底上げを目指す活動。成功裏に終わったものに限らず、推進中のものや、スタートしたばかりのものでもかまいません。他のITCや中堅・中小企業経営者の参考になるような事例を歓迎します。

### Cコース：最新技術によるソリューション事例

ITの最新技術により新たなビジネスモデルが誕生した事例。MCPCによるモバイルソリューションや、Webマーケティングを想定していますが、それ以外の新技術・新ビジネスについてもご応募ください。

### Dコース：展示等の特別企画

今年度のカンファレンス会場には講演を行う大きな部屋とは別にいくつか小さな部屋があります。この部屋を利用して活動内容の展示、情報交流イベント、等の特別企画も募集します。ITCの活動として相応しいものであれば採用しますので奮って応募してください。40m<sup>2</sup>～200m<sup>2</sup>の広さの部屋があります。

### 一般コース：上記以外の事例

従来同様のITCプロセスを応用した成功例や、失敗して得られた貴重な教訓など、上記各コースに分類できない内容の発表・講演も募集します。

## 4. 応募資格

事例の応募資格は、応募時点で下記のいずれかに該当する方であつ、大会2日目(10月22日)に発表可能である方であつ、2名以上のITコーディネータまたはITコーディネータ補より推薦を得られる方です。

ITコーディネータ

ITコーディネータ補

2名以上のITコーディネータまたはITコーディネータ補より推薦を受けていただくのは、発表事例としてふさわしい内容であることを応募者側で検討し、自己評価していただくためです。

## 5. 応募受付期限および審査日程

応募開始からそれ以降の審査日程は次のとおりとします

受付開始 5月24日(火)

受付終了 6月20日(月) 17:00

審査 6月21日～7月5日

( 必要に応じてヒアリングを行いません 6月27日～30日前後)

発表者通知 7月6日(水) (一両日遅れる場合があります)

発表資料提出締切 9月20日(火) 予定(対象者に追って連絡します)

\* 1 : 審査は、ITC Conference 2005 実行委員会が行います。

\* 2 : 発表事例として該当する事例の応募がない場合は、実行委員会側で発表者を選定することがあります。

\* 3 : 発表者には、発表資料とは別に、別途事例論文の提出があります。

## 6. 応募先

応募先は、文末に記載するITコーディネータ協会事務局宛てにお送り下さい。

## 7. 応募する上での注意事項

( 1 ) 応募手順について

発表事例の応募は、所定の書式を利用して、行ってください。所定の書式に関しては、添付【ITC Conference 2005 ITC 活動 発表事例応募書式について】を参照して下さい。

( 2 ) 応募事例の取扱いについての確認事項

発表用資料や事例論文として提出された文書・資料は、ITコーディネータ協会から随時公開されることとなりますので、ご了解下さい。

## 8. 審査結果の発表

審査結果の発表は、決定後速やかにメールにて応募者に通知します。

## 9. 事例発表についてのマルチエントリーポイントの付与に関して

提出された事例発表用資料は、後日提出していただく事例論文とあわせて、マルチエントリーポイント制度の知識ポイント「ITC活動による成功事例論文」に該当し、最大5ポイントの知識ポイントが付与されます。(付与されるポイント数は、事例論文の審査結果によります。)

## 10. 発表者の交通費等について

事例発表者の発表当日の交通費に関してはITコーディネータ協会旅費規程に準拠し、原則実費で支給いたします。詳細につきましては別途個別に説明いたします。また、大会2日目の参加費につきましては、免除となります。なお、手続きの関係で、後日精算になることがありますので、あらかじめご了承願います。

## 11. 申込みおよび問合せ先

本件に関する申込みおよび問い合わせは、以下をお願いします。

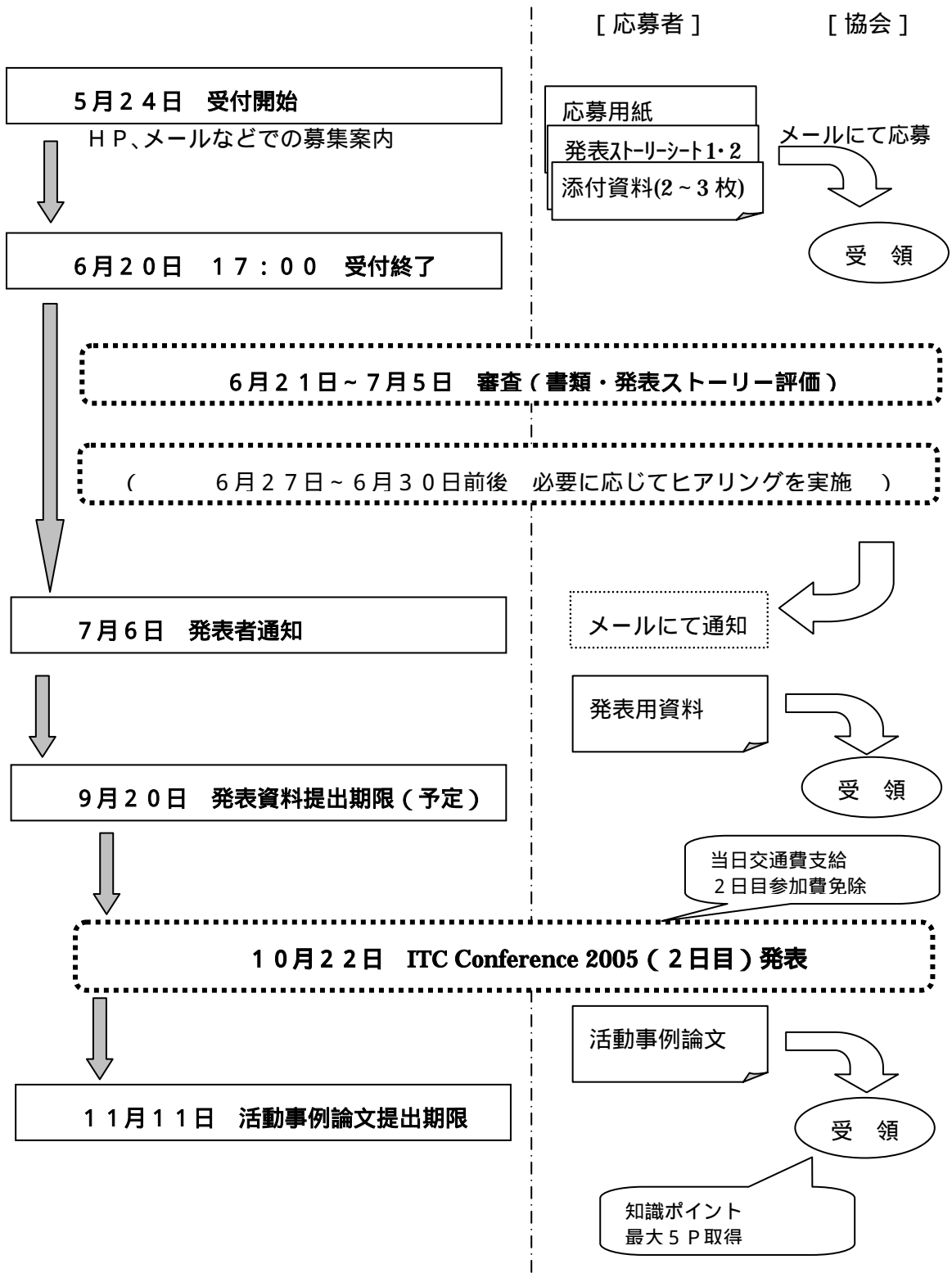
特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会 ITC Conference 2005 発表事例募集担当

E-mail : confer-2005@itc.or.jp

電話 : 03-5733-8380

住所 : 〒105-0011 東京都港区芝公園 1 - 8 - 2 1 芝公園リッジビル7階

【ITコーディネータ活動事例発表者選定手順】



## 【ITC Conference 2005 ITC 活動 発表事例応募書式について】

( 1 ) 発表事例の応募書類作成に際しては、次の手順にしたがい手続きをお願いします

IT コーディネータ協会 HP からの応募用紙のダウンロード

事例発表ストーリーシート提出

発表用資料提出

( 2 ) 応募用紙に関して

IT コーディネータ協会の HP からダウンロードした応募用紙を使って、応募してください。

応募用紙は、次のような構成になっています。

応募者基本事項 ( 氏名、連絡先、発表タイトル、事例対象企業名、推進者名、など )

IT コーディネータ活動事例発表ストーリーシート 1 / 2

IT コーディネータ活動事例発表ストーリーシート 2 / 2

( 3 ) 事例発表ストーリーシートの作成要領

事例発表ストーリーシート 1 / 2 の記載事項は、次の通りです。

発表タイトル

発表者名および認定番号

発表論旨 ( 発表論旨を 1 0 0 0 字以内でまとめて下さい。事例の背景、ITC 参画のねらい、具体的な課題、実施したこと、体得したことなど、事例の内容がわかるように、まとめて下さい )

ITC プロセス実施範囲 ( ITC プロセスの該当するフェーズを示して下さい )

自己紹介および応募にあたっての自由意見 ( 発表者の経歴など、発表の裏付けとなる情報を紹介して下さい )

事例発表ストーリーシート 2 / 2 では、書式にしたがって、発表を想定したシナリオを、1 0 ステップ程度でまとめて下さい。必要に応じて、2 ~ 3 枚程度の添付資料があっても構いません。

( 4 ) 発表用資料作成要領

発表用資料は、事例発表ストーリーシートをもとに、パワーポイント等のプレゼンテーションツールで作成して下さい。書式は特に規定しませんが、表紙には論文タイトルと、発表者名を表示して下さい。なお発表時間は 6 0 分で、発表用器材としては、パソコン及びプロジェクター ( Windows 対応 ) を準備します。

( 5 ) 活動事例論文について

事例発表していただいた方には、別途活動事例を論文として提出していただきます。これは IT コーディネータの事例紹介として、随時公開されることとなりますので、ご了解下さい。論文の書式および作成要領については、別途連絡いたします。

【ITC Conference 2005 ITコーディネータ活動 発表事例応募用紙】

《基本事項》

【記入事例】

項目	記入欄	補足
申込者氏名	相亭 幸次郎	
申込者氏名(カナ)	アイテイ コウジロウ	
申込者資格区分	ITコーディネータ、ITコーディネータ補	該当する を、にかえてください
申込者認定番号	0011112004C	ITC(補)認定番号を記入してください
連絡先		
E-mail	<a href="mailto:Itca-taro@xxxxxxxx.co.jp">Itca-taro@xxxxxxxx.co.jp</a>	
電話番号	自宅 : 03 - 37XX - 72XX 勤務先 : 03 - 59XX - 01XX	
住所	自宅 : 〒153 - 00XX 東京都 区 町1 - 5 - XX 勤務先 : 〒100 - 00XX 東京都 区 5 - 5 - X ビル	
勤務先名	株式会社 部	
発表タイトル	海老土商事における、物流システム導入による企業革新事例	
コース	経営とITの融合、IT経営応援隊、最新技術、特別企画、一般 (該当するフェーズの を、に替えてください)	
事例対象企業名	株式会社海老土商事	
経営者名	海老一郎	経営者とのジョイント発表：可
推薦者1	氏名：水仙 花子	認定番号：0011132003C
推薦者2	氏名：一押 太郎	認定番号：0011122002C

《記載上の注意事項》

推薦者はITコーディネータもしくはITコーディネータ補認定を受けた2名とし、氏名と認定番号を必ず記入して下さい(募集要項4)。

発表事例についてはITコーディネータ協会から随時公開されます。その際事例対象企業名は実名として公開しますので、事例対象企業様のご了承をいただき、用紙に記入して下さい(募集要項7-(2))。

《発表タイトル》海老土商事における、物流システム導入による企業革新事例

《発表者名/認定番号》相亭 幸次郎 / 0011112004C

《発表論旨》（1000字以内）

海老土商事は、中堅の日用品卸売業として30年間事業を続けてきた。最近になって業績の停滞が続く中で、海老土商事としても、サプライチェーンの枠組みにしっかりと組込まれた事業を確立するという狙いで、物流システムの導入を行った。

事業レベルでのシステム導入に不安を持った同社から、相談を受け、提案内容が認められて契約に至った。

現状の事業規模や想定される将来の姿にあったシステム選定や、従来からの仕事のやり方をどう新しいシステムに適合させたか、などを含めた企業革新事例について報告する。

《ITCプロセスにおける実施範囲》（該当するフェーズの を、 に替えてください）

経営戦略、戦略情報化、情報化資源調達、情報システム開発・テスト・導入、運用サービス・デリバリー

発表者自己紹介および発表にあたっての自由意見

私自身の経歴は次の通りです。

中堅の生産財卸会社に10年勤務。営業および受発注管理の業務を担当。

システムベンダーに転職し、SEを5年経験。

現在独立し、共同でシステム導入支援のコンサルティング会社を経営。

皆様に実際に体験したITCとしての活動を発表し、中小企業やITCに関係する皆様にお役にたてればと思います。

《発表タイトル》海老土商事における、物流システム導入による企業革新事例  
 《発表者名/認定番号》相亭 幸次郎 / 0011112004C

発表ストーリー（10ステップ程度にまとめる。必要に応じ2～3枚程度添付資料をつける。）

